

ISOM'15 報告



ISOM'15 会場となった富山国際会議場

ISOM (International Symposium on Optical Memory) は 1985 年にスタートした SOM (Symposium on Optical Memory) を母体に 1987 年から継続的に開催されている光メモリ技術に関する国際学会であり、今年 (2015 年) は 10 月 4 日 (日) ~8 日 (木) の会期で、富山市の富山国際会議場において開催された。

光協会は ISOM スタート時からのスポンサーであり、今年も共催団体として小谷専務理事以下関係者が出席した。

ISOM における研究発表分野は、光メモリシステムの設計とアプリケーションの最新動向に加え、メディア、レーザ、デバイス、光システム、コンピュータシミュレーションを含む基礎理論、および最近特に注目されているナノフォトニクス、記録保管システムに関係する広範な将来技術の領域を含んでおり、各分野の研究者から最新の研究成果が紹介された。

さらに、今回からポスターセッションの一部にデモ展示を併設し、実際の動作を見ながらの説明は来場者に好評だった。

今回の ISOM'15 の参加者数は 117 名であり、開催国の日本と、韓国、中国、台湾、米国、シンガポールからの参加があった。

ISOM'15 国別参加者数

日本	韓国	中国	台湾	米国	シンガポール	合計
93	9	7	6	1	1	117

応募論文件数は 58 件で、日本、韓国、台湾に加え米国、中国からも応募があった。招待講演、ポストデッドラインペーパーを含めた 78 件について 12 のセッションで口頭発表が、36 件についてポスターセッションが行われ、活発な討議が繰り広げられた。

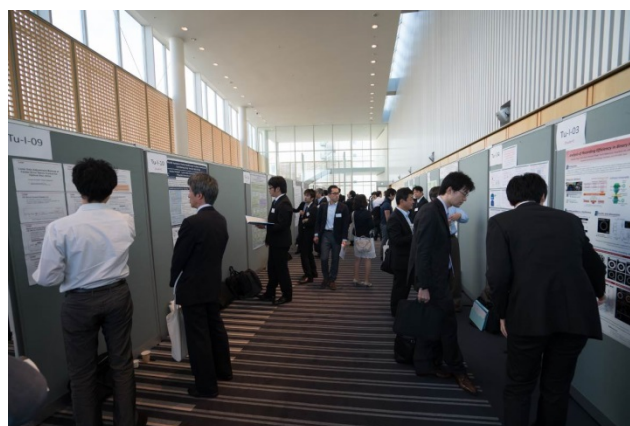
ISOM'15 国別応募論文件数

日本	韓国	台湾	米国	中国	合計
37	8	7	4	2	58

今後も ISOM は、光メモリ技術をコアとしながらも関連する幅広い技術領域における最新の研究成果発表、技術交流の場として、技術・研究の発展に貢献していくことが期待されている。次回の [ISOM'16](#) は、京都市の京都リサーチパークにおいて 2016 年 10 月 16 日（日）～19 日（水）の会期で開催されることが決定した。



Oral Session Hall



Poster Session



ISOM'15 参加者集合写真